

未経験でも、取っ付きやすいベリカット

ユーザーが語る、ベリカットの魅力

浜上氏がさらに詳細を語る
インタビューの様子は

WEB動画で

■《ベリカット》導入のきっかけは

元々3軸機向けに導入し、メインはNCプログラムのチェックでした。加工物が大きく、主な素材はアルミです。鉄やステンレスと違い修復が難しく、プログラムチェックはとても重要です。以前は、実機によるエアカットで確認していましたが、時間はかかるし、プログラム間違の見逃しや思い込み作業の危険もありました。部品が大型化すればするほど、当然作業者の緊張も大きくなります。環境を改善するために、導入を決めました。



<http://al-shinwa.jp/>

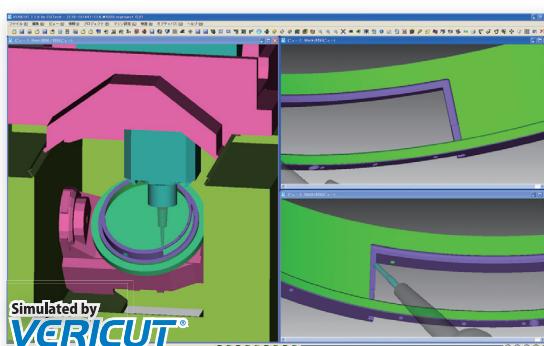
回答者
株式会社信和
第2工場長 浜上真輔 氏

■Profile

機械加工に携わって20年。1999年、父が設立した会社に男3兄弟（回答者は次男）揃って入社。MC加工への取り組みから、NCプログラムに興味を持つ。4年前の工場増設に伴い、新設した工場の工場長に就任。主に5Sなどの工場管理や、工程の設計・管理、CAD/CAMでのNCプログラム作成、シミュレーションの最終チェックなどを行っている。



弊社は、小さなものから大型部品まで、あらゆる分野の精密部品の加工を行っております。『時代が求めるモノづくりの追及』を合言葉に、「低コスト」「短納期」「高品質」にてご提供いたします。また、『サポートインダストリー』としての誇りと自覚を持って、物づくりを通じて社会の発展に貢献するために、更なる技術の向上をめざして取り組んでおります。



画像提供：株式会社信和

■ベリカットとは

航空宇宙産業、自動車、鉄道、金型、家電、発電、重工業など、世界中の生産現場で運用されている工作機械の加工シミュレーションソフトウェア。

■どのような機能を活用していますか

レビュー機能を使い、加工動作や加工内容を確認しながら作業しています。Xキャリパー機能を活用すれば、全ての図面寸法を正確に検査でき、加工に納得して作業を進められます。また、オートディフ（比較検査）で、加工忘れや削りすぎ、削り残しも把握できる。切削時間などを記したレポートも工程計画上、とても役立っています。現在、ほぼフルオプションで活用しており、本当に貴重な存在です。今後は、段取りまで含めた“加工の手順書”のような使い方ができないか模索中です。

■購入検討中のユーザーにメッセージを

「ミスなく、早く、安全に」加工するために、ベリカットは必要不可欠なツールですね。日本のモノづくりに求められる「低コスト」、「短納期」、「高品質」に貢献できるはず。ベリカットを使いこなせれば、さらに加工が楽しいものになると思いますよ。